

第62回中国・四国精神神経学会
第45回中国・四国精神保健学会

プログラム

特別講演

シンポジウム

ランチオンセミナー

イブニングセミナー

特別講演 1

第 1 日目 11月18日(金)

第 1 会場(2F 国際会議室)

11:15 ~ 12:15

座長：岩田 正明(鳥取大学医学部脳神経医科学講座精神行動医学分野)

せん妄の臨床・脳科学へのブレークスルーを目指して
～新規脳波デバイス、エピジェネティクスバイオマーカー、マウスモデル開発～

篠崎 元(Stanford University)

特別講演 2

第 2 日目 11月19日(土)

第 1 会場(2F 国際会議室)

11:30 ~ 12:30

座長：渡辺 憲(日本精神科病院協会 鳥取県支部長、鳥取県医師会 会長)

臨床現場においてオープンダイアログをいかに実装するか

斎藤 環(筑波大学医学医療系)

※本特別講演は、鳥取県医師会主催「2022 心の医療フォーラム」との共同開催セッションです

シンポジウム 1

第 1 日目 11月18日(金)

第 1 会場(2F 国際会議室)

9:00 ~ 11:00

超高齢社会の認知症医療を考える

座長：数井 裕光(高知大学医学部神経精神科学講座)

SY1-1 岡山大学における認知症・老年期精神疾患に関する研究の紹介

竹之下 慎太郎、寺田 整司(岡山大学病院 精神科神経科)

SY1-2 学校における認知症教育を通してのBPSD予防

諸隈 陽子(医療法人南江会 一陽病院)

SY1-3 当事者(認知症の本人・介護家族)の視点から考える認知症医療

吉野 立(公益社団法人認知症の人と家族の会鳥取県支部)

SY1-4 新型コロナウイルス感染症禍における認知症対策

河月 稔(鳥取大学医学部保健学科生体制御学講座)

シンポジウム 2

第 1 日目 11月18日(金)

第 1 会場(2F 国際会議室)

14:35 ~ 16:35

中国四国発、新しいうつ病治療

座長：岡本 泰昌(広島大学大学院精神神経医科学)

SY2-1 rTMSでの慢性疼痛を伴う「うつ病」の治療経験

澤田 和之(鳴門シーガル病院)

SY2-2 ケトン体を用いた新規抗うつ治療の可能性 ~抗炎症作用に焦点を当てて~

山梨 豪彦(鳥取大学医学部附属病院 精神科)

SY2-3 鳥大発、新しい「認知」行動療法

竹田 伸也(鳥取大学大学院医学系研究科臨床心理学講座)

SY2-4 うつ兆候(プレゼンティーズム)を検知・軽減させる

モバイルヘルスシステムの開発

清水 あやか(広島大学大学院医系科学研究科 精神神経医科学)

シンポジウム 3

第2日目 11月19日(土)

第1会場(2F 国際会議室)

9:00～11:00

多職種で支える地域のアルコール医療

座長：堀井 茂男(公益財団法人慈圭会 慈圭病院)

山下 陽三(社会医療法人明和会医療福祉センター 渡辺病院)

SY3-1 『総合病院等とのアルコール医療連携』～つながる効果、そして残された問題～

西田 充利(公益財団法人正光会 宇和島病院)

SY3-2 アルコール依存症専門医療機関による啓発活動の取り組み

～即効やろう! A チームの紹介～

中井 伸弥(医療法人正雄会 呉みどりヶ丘病院)

SY3-3 地域のアルコール医療における精神保健福祉士の役割とは

上村 真実(公益財団法人林精神医学研究所 附属林道倫精神科神経科病院)

SY3-4 渡辺病院における治療プログラムと地域連携について

山下 陽三(社会医療法人明和会医療福祉センター 渡辺病院)

SY3-5 体験談

杉原 雄嗣(特定非営利活動法人 鳥取県断酒会)

シンポジウム 4

第2日目 11月19日(土)

第1会場(2F 国際会議室)

13:50～15:50

孤独を抱える青年へ、精神医療に何ができるか

座長：原田 豊(鳥取県立精神保健福祉センター)

SY4-1 発達障害と孤独

佐竹 隆宏(鳥取県立総合療育センター)

SY4-2 多分野・多職種の協働が必須である若年の自殺対策：精神医学、社会医学、精神保健学、保健管理学、行政および教育分野の融合

井上 顕(高知大学教育研究部医療学系 / 保健管理センター)

SY4-3 ひきこもりと孤独？

山崎 正雄(高知県立精神保健福祉センター)

SY4-4 子どものネット依存の背景にある孤独

河邊 憲太郎(愛媛大学大学院医学系研究科 精神神経科学講座)

ランチオンセミナー 1

第 1 日目 11月18日(金)

第 1 会場(2F 国際会議室)

12:25 ~ 13:25

Real Latuda

Lecture

座長：須藤 康彦(医療法人須藤会 土佐病院)

1：ラツダ、2年間の軌跡から視えてきた使い方、活かし方

藤田 康孝(医療法人社団更生会 草津病院)

2：エビデンスに基づくラツダの安全性

安田 英彰(特定医療法人恵和会 石東病院)

Discussion

Introduction：ラツダを使用経験から考える

中村 真之(医療法人十全会 十全ユリノキ病院)

ディスカッサー：藤田 康孝(医療法人社団更生会 草津病院)

安田 英彰(特定医療法人恵和会 石東病院)

共催：住友ファーマ株式会社

ランチオンセミナー 2

第 1 日目 11月18日(金)

第 2 会場(6F 第 7 会議室)

12:25 ~ 13:25

座長：渡辺 憲(日本精神科病院協会 鳥取県支部長、鳥取県医師会 会長)

私の統合失調症診療 治療に当たり考えること・行うこと

上野 修一(愛媛大学大学院医学系研究科 精神神経科学)

共催：Meiji Seika ファルマ株式会社

ランチオンセミナー 3

第 1 日目 11月18日(金)

第 3 会場(2F 小ホール)

12:25 ~ 13:25

座長：石原 武士(川崎医科大学 精神科学教室)

自殺予防における精神医学の役割と制約

稲垣 正俊(島根大学医学部 精神医学講座)

共催：ヴィアトリス製薬株式会社

ランチオンセミナー 4

第2日目 11月19日(土)

第1会場(2F 国際会議室)

12:40～13:40

座長：中川 伸(山口大学大学院医学系研究科 高次脳機能病態学講座)

うつ病治療におけるトリンテリックス錠の位置づけ

石原 武士(川崎医科大学 精神科学教室)

共催：武田薬品工業株式会社

ランチオンセミナー 5

第2日目 11月19日(土)

第2会場(6F 第7会議室)

12:40～13:40

座長：助川 鶴平(社会医療法人明和会医療福祉センター 渡辺病院)

栄養精神医学における亜鉛 ～メンタルヘルスは食事から～

奥平 智之(医療法人 山口病院)

共催：ノーベルファーマ株式会社

ランチオンセミナー 6

第2日目 11月19日(土)

第3会場(2F 小ホール)

12:40～13:40

座長：岩田 正明(鳥取大学医学部 脳神経医科学講座 精神行動医学分野)

うつ病に併存する不眠症の治療戦略－不眠症への早期介入意義－

鈴木 正泰(日本大学医学部 精神医学系 精神医学分野)

共催：エーザイ株式会社

イブニングセミナー 1

第1日目 11月18日(金)

第1会場(2F 国際会議室)

17:25～18:25

座長：渡辺 憲(日本精神科病院協会 鳥取県支部長、鳥取県医師会 会長)

脳情報に基づくうつ病診療の近未来的展開

岡本 泰昌(広島大学大学院医系科学研究科 精神神経医科学)

共催：東和薬品株式会社

第62回中国・四国精神神経学会

プログラム

一般演題

一般演題 [中国・四国精神神経学会]

第1日目 11月18日(金)

第2会場(6F 第7会議室)

一般演題 1

9:00 ~ 10:00

神経症 / 児童思春期

座長：和氣 玲(島根大学人間科学部 医学部精神医学講座)

P01 健忘症状を認め当院に救急搬送された一例

○飯塚 貴裕、板倉 征史
松江市立病院

P02 妊娠中に身体症状を発生して中絶を希望したが精神科的加療により妊娠継続できた一例

○新川 甲太¹、萩原 康輔¹、光井 瞳²、山科 貴裕¹、松原 敏郎¹、中川 伸¹
¹ 山口大学 医学部附属病院 精神科神経科、² 山口県立こころの医療センター

P03 虐待により解離状態に至った一例

○柴山 愛実、兼子 幸一、永見 剛房
医療福祉センター倉吉病院 精神科

P04 致命的な手段で自殺を図った児童思春期の3症例

○桐原 史瑛、原田 健一郎、松原 敏郎、中川 伸
山口大学医学部附属病院 精神科神経科

一般演題 2

10:05 ~ 11:05

mECT

座長：三浦 明彦(鳥取大学医学部 脳神経医科学講座 精神行動医学分野)

P05 寛解維持にメンテナンス ECT が必要であった身体症状が前景に立つ老年期うつ病の一例

○長尾 崇弘、池尻 直人、増田 慶一、岡田 剛、岡本 泰昌
広島大学病院

P06 炭酸リチウム併用により維持電気けいれん療法が継続できている 体幹型セネストパチーの一例

○竹林地 郁¹、木村 彩乃¹、皆尾 望¹、李 大賢¹、川下 芳雄¹、和田 健¹、
山岡 賢治²
¹ 広島市立病院機構 広島市立広島市民病院 精神科、² 瀬野川病院

P07 維持電気けいれん療法により認知機能の悪化なく治療継続している 軽度認知障害を合併するうつ病の一例

○佐藤 皓平、大舘 孝治、槻宅 雅史、伊藤 司、錦織 光、山下 智子、長濱 道治、
稲垣 正俊
島根大学 医学部 精神医学講座

P08 岡山大学病院におけるケタミンを使用した ECT 9 例の検討

○馬場 悠花里¹、山田 裕士¹、酒本 真次¹、竹之下 慎太郎¹、寺田 整司²
¹ 岡山大学病院 精神科神経科、² 岡山大学学術研究院医歯薬学域 精神神経病態学教室

統合失調症-1

座長：助川 鶴平(社会医療法人明和会医療福祉センター 渡辺病院)

P09 クロザピン投与中に無顆粒球症と急性虫垂炎を併発した1例

○栗山 裕¹、千田 真友子¹、竹之下 慎太郎¹、藤原 雅樹¹、寺田 整司¹、
矢田 勇慈²、近藤 歌穂³、松岡 賢市³、三島 顕人⁴

¹岡山大学病院 精神科神経科、²岡山県精神科医療センター、

³岡山大学病院 血液・腫瘍内科、⁴岡山大学病院 肝・胆・膵外科

P10 ウルソデオキシコール酸の併用により安全に再投与可能であった
クロザピン誘発性肝障害の一例

○佐藤 涼太¹、矢田 勇慈²、山田 裕士¹、藤原 雅樹¹、来住 由樹²

¹岡山大学病院 精神科神経科、²岡山県精神科医療センター

P11 二回の悪性症候群の既往のある治療抵抗性の統合失調症に対して
クロザピンを導入した症例

○丸山 祐輝、田中 潔、兼子 幸一、前田 和久

医療福祉センター 倉吉病院

一般演題 4

統合失調症-2

座長：片山 征爾(社会医療法人 昌林会 安来第一病院)

P12 自殺企図後の統合失調症において高用量ブレクスピプラゾールが著効した一例

○山下 将平¹、酒本 真次¹、竹之下 慎太郎¹、寺田 整司²

¹岡山大学病院 精神科神経科、²岡山大学学術研究院医歯薬学域精神神経病態学

P13 鉍質コルチコイド反応性低ナトリウム血症と診断された慢性期統合失調症の1例

○宮原 直樹、小林 孝文

島根県立こころの医療センター

P14 抗精神病薬療法を長期間行っている統合失調症患者にパーキンソン病の併発を診断し、
両者への治療を継続している2症例

○有馬 那帆¹、久保 なな¹、土居 聡子²、徳田 直希^{2,3}、村上 丈伸^{2,3}、
渡辺 憲¹

¹社会医療法人明和会医療福祉センター 渡辺病院 精神科、

²社会医療法人明和会医療福祉センター 渡辺病院 神経内科、

³鳥取大学 医学部 脳神経医科学講座 脳神経内科

P15 高齢の統合失調症患者に出現したパーキンソニズムの鑑別・治療に
DATscan が有用であった症例

○吉岡 大祐

鳥取大学医学部附属病院 精神科

急性一過性精神障害

座長：大立 博昭(鳥取大学医学部附属病院 精神科)

P16 老年期発症で、二度のエピソードのある急性一過性精神病性障害の2症例

○有馬 和志、長田 泉美、坂本 泉、土井 清
独立行政法人国立病院機構鳥取医療センター 精神科

P17 急性虫垂炎術後に著しい幻覚妄想を呈し、せん妄と短期精神病性障害の鑑別に苦慮した一例

○松田 宙也¹、青木 真理子²、木下 誠³、中瀧 理仁³、大森 隆史²、
沼田 周助³
¹香川県立丸亀病院、²徳島県立中央病院 精神科、³徳島大学病院 精神科神経科

P18 入院後に急速に悪性症候群を呈した急性一過性精神病性障害の一例

○蔡 嗣錡、兼子 幸一
医療福祉センター 倉吉病院

一般演題6

8:55～9:40

器質・症状性精神障害-1

座長：梶谷 直史(鳥取大学医学部附属病院 精神科)

P19 精神病症状で発症したハンチントン病にバルプロ酸が著効した一例

○友納 弘樹、梶谷 直史、三浦 明彦、大立 博昭、太田 三恵、国分 一男、
岩田 正明
鳥取大学医学部附属病院 精神科

P20 解離性障害を疑ったクロイツフェルト・ヤコブ病の一例

○的場 翔也^{1,2}、鷺田 健二¹、吉村 優作¹、鹿野 真代¹、城戸 高志¹、宇野 健一¹、
山下 理英子¹、池田 智香子¹、石津 秀樹¹、青木 省三^{1,3}
¹ 公益財団法人慈圭会慈圭病院、
² 公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院、
³ 公益財団法人慈圭会精神医学研究所

P21 電気痙攣療法が奏功した卵巣奇形腫を伴う抗NMDA受容体脳炎の1例

○花田 直子^{1,2}、松本 直樹²、木下 誠¹、中瀧 理仁¹、沼田 周助¹、
大森 隆史²
¹ 徳島大学病院 精神科神経科、² 徳島県立中央病院 精神科

一般演題7

9:45～10:30

器質・症状性精神障害-2

座長：大舘 孝治(鳥根大学医学部 精神医学講座)

P22 生理的分泌量のステロイド補充によりステロイド精神病を来した一例

○増田 太利志、青井 駿、木下 誠、中瀧 理仁、沼田 周助
徳島大学病院 精神科神経科

P23 先天性ホモシスチン尿症に器質性双極性感情障害を来した一症例

○前田 拓也¹、花田 直子¹、岡田 朝美²、小谷 裕美子²、木下 誠¹、中瀧 理仁¹、
沼田 周助¹
¹ 徳島大学病院 精神科神経科、² 徳島大学病院 小児科

P24 まとまりのない言動を契機に入院しSIADHを加療後、脳炎の可能性が疑われた一例

○原賀 健一^{1,2}、小林 正明¹、原田 健一郎¹、松原 敏郎¹、兼行 浩史²、
中川 伸¹
¹ 山口大学 医学部附属病院 精神科神経科、² 山口県立こころの医療センター

その他-1

座長：妹尾 晴夫(松江青葉病院)

P25 精神科における退院時薬剤情報提供書の有用性に関する調査

○公文 理紗子、宇治 宏美、榊井 章典、福田 のぞみ、阪岡 沙耶香、
横江 穂奈美、高畑 大平、下村 悠祐、山田 雅彦
医療法人社団 更生会 草津病院 薬剤課

P26 入院下における短期集団行動活性化の効果に関する検討

吉村 友里、○伊達 なつき、浅岡 聡、中津 啓吾
医療法人社団 更生会 草津病院

P27 広島大学病院における精神科リエゾン活動について

○長尾 達憲、板垣 圭、倉田 明子、岡本 泰昌
広島大学病院 精神科

第2日目 11月19日(土)

第3会場(2F 小ホール)

一般演題 9

8:55 ~ 9:40

気分障害

座長：林 皓章(鳥取大学医学部附属病院 精神科)

P28 副作用のため薬剤調整に難渋したが、早期に寛解した重症老年期うつ病の1例

○丹京 優衣、大盛 航、都 晶子、増田 慶一、岡本 泰昌
広島大学 医学部 精神科

P29 再発を繰り返す精神病性うつ病の維持療法における pramipexole 併用療法の有効性

○市原 早紀、中川 伸、松原 敏郎、山田 典弘
山口大学 医学部 医学科

P30 管理職になりたくない40代男性の一例

○金原 誠
国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター 精神科

一般演題 10

9:45 ~ 10:30

うつ病とDLB

座長：廣江 ゆう(医療法人養和会 養和病院)

P31 うつ病の加療中にレビー小体型認知症が疑われた一例

○武藤 遥、高橋 優、石原 武士
川崎医科大学附属病院 精神科学教室

P32 うつ病発症後、レム睡眠行動障害、軽度認知障害を呈し、prodromal Dementia with Lewy bodies (DLB)と考えられる一例

○木村 彩乃、竹林地 郁、皆尾 望、李 大賢、川下 芳雄、和田 健
広島市立広島市民病院 精神科

P33 他科入院中にうつ病からレビー小体型認知症に診断変更した一例

○松尾 諒一
鳥取県立中央病院 精神科

COVID-19

座長：加藤 明孝(医療法人勤誠会 米子病院)

P34 COVID-19 罹患による自宅療養時に解離症状を呈した一例

○峯瀬 正祥
高知県立あき総合病院 精神科

**P35 COVID-19 で当院に入院となった患者全例に対し、精神科がカルテ診察で
事前介入を行った結果についての報告**

○木曾田 大、石川 一郎、岡田 裕希、上野 祐介、森 崇洋、安藤 延男、
中村 祐
香川大学医学部附属病院 精神科神経科

P36 重度認知症治療病棟で COVID-19 クラスター発生の経験を通して得たもの

○瀬川 昌弘、瀬川 芳久
医療法人社団せがわ会 千代田病院 広島県北部・安芸・認知症疾患医療センター

一般演題 12

13:50～14:50

その他 -2

座長：山梨 豪彦(鳥取大学医学部附属病院 精神科)

P37 不安・抑うつ気分に対して半夏厚朴湯が有用であった1症例

○長濱 道治¹、河野 公範¹、槻宅 雅史¹、林 真一郎²、正岡 浩²、三原 靖葉³、
林 茉衣⁴、伊藤 司¹、佐藤 皓平¹、錦織 光¹、山下 智子¹、大拙 孝治¹、
林田 麻衣子¹、岡崎 四方¹、和氣 玲¹、稲垣 正俊¹

¹鳥根大学 医学部 精神医学講座、²鳥根県立こころの医療センター、

³特定医療法人 恵和会 石東病院、⁴医療法人 青葉会 松江青葉病院

P38 知的障害者への対応に苦慮し退職を考えている看護師

○吉田 玲夫、吉田 昌平
医療法人社団吉田会吉田病院

P39 神経発達症をもつ患者さんの「遅刻」や「予約外受診」について

～特に ADHD と ASD について～

○板倉 征史
松江市立病院 精神神経科

P40 自験例における刑事精神鑑定の傾向

○青木 岳也
周南病院 精神科

一般演題 13

14:55～15:55

認知症

座長：板倉 征史(松江市立病院 精神神経科)

P41 トラマドールによって幻覚妄想状態が悪化したと考えられるレビー小体型認知症の一例

○宮川 泰介、細田 直子、廣江 ゆう
医療法人養和会 養和病院

P42 核医学検査の老年期精神科診療における有用性について

～2症例の提示とその活用法についての考察～

○久保 なな¹、有馬 那帆¹、佐々木 彩¹、王 紅欣¹、井上 郁¹、土居 聡子²、
助川 鶴平¹、西田 政弘¹、英 裕人¹、徳田 直希^{2,3}、村上 丈伸^{2,3}、渡辺 憲¹

¹社会医療法人明和会医療福祉センター 渡辺病院 精神科、

²社会医療法人明和会医療福祉センター 渡辺病院 神経内科、

³鳥取大学医学部脳神経医科学講座脳神経内科学分野

P43 認知症の症例を通して医療同意および意思決定支援の問題を考える

○西川 直人¹、矢守 誉史²、本田 肇²、藤田 文博²
¹林道倫精神科神経科病院、²岡山ひだまりの里病院

P44 物忘れ外来連続 65 例の検討

○檜垣 雄治、廣江 ゆう
養和病院 脳神経内科

一般演題 14

16:00 ~ 17:00

摂食障害 / 依存症

座長：松村 博史(倉吉病院)

P45 他科主治医との役割分担によって治療した摂食障害の一例

○木曾 萌香、枝廣 暁、辻野 修平、竹之下 慎太郎、寺田 整司
岡山大学病院 精神科神経科

P46 高度なるい瘦をきたした高齢の神経性無食欲症の 1 例

○松田 旭生、内田 理恵、高橋 優、石原 武士
川崎医科大学附属病院 精神医学教室

P47 発達特性を背景とした、アルコール依存症候群の 1 例

○松浦 美波¹、山梨 豪彦¹、岩田 正明¹、兼子 幸一²
¹鳥取大学医学部附属病院 精神科、²社会医療法人仁厚会 倉吉病院

P48 鳥取県での回復支援施設ダルクらとの地域連携による薬物依存症治療

○山下 陽三¹、山根 健二¹、林 敏昭¹、岩岸 直美¹、角道 倫宏¹、
千坂 雅浩²
¹明和会医療福祉センター 渡辺病院、²NPO 法人リカバリーポイント 鳥取ダルク

第45回中国・四国精神保健学会

プログラム

一般演題

一般演題 [中国・四国精神保健学会]

第1日目 11月18日(金)

第3会場(2F 小ホール)

一般演題 1

9:00 ~ 10:00

急性期医療 / 慢性期医療 座長：本田 功(社会医療法人高見徳風会希望ヶ丘ホスピタル 看護部 精神療養病棟)

M01 介入拒否の強い統合失調症患者への看護師の関わり ～信頼関係構築による治療意欲の向上～

○渡邊 将司、伊藤 里彩
医療法人せのがわ 瀬野川病院

M02 薬剤調整の困難な患者における足浴の効果の実際 ～より良いケアのための対象理解の重要性～

○江木 誠貴、鳥生 野花
医療法人せのがわ 瀬野川病院

M03 治療抵抗性統合失調症患者の長期行動制限が解除となったクロザピン治療症例報告

○田熊 麻美¹、中尾 敦子¹、兼子 幸一²、笠見 美奈子³

¹医療福祉センター 倉吉病院 看護部、²医療福祉センター 倉吉病院 医局、

³医療福祉センター 倉吉病院 薬局

M04 終末期にその人らしく生きるための関わり ～シルバーディケアでの取り組み～

○矢田 陽子
医療法人 養和会 養和病院

一般演題 2

10:05 ~ 11:05

その他

座長：大村 初美(医療法人青葉会 松江青葉病院)

M05 当院における就労支援の試み ～院内業務の活用～

○木曾 光輝、三野 与喜、三宅 秀樹、大西 順子、西紋 孝一
医療法人社団 中和会 西紋病院

M06 体感幻覚のある患者への関わりに関する看護職の意識調査

○乙部 真実
医療法人青葉会 松江青葉病院

M07 精神科看護師における「巻き込まれ」の傾向とその関連要因

○川本 洸¹、吉岡 伸一²

¹鳥取大学医学部附属病院 看護部 1階 B病棟、

²鳥取大学医学部 保健学科 看護学専攻 地域・精神看護学

M08 熟練看護師が電話相談をする際のアセスメントの視点

○水戸部 友絵、藤原 亮太、曾我 美里子、大矢 菜穂子、森川 貴志子
鳥根大学医学部附属病院

一般演題 3

14:35 ~ 15:20

COVID-19

座長：馬明 康宏(医療法人せのがわ 瀬野川病院)

M09 COVID-19による危機的状況下の看護 ～精神科急性期病棟でのストレス緩和～

○遠目塚 潤、原 慎吾、西村 由美子、杉江 拓也

医療法人仁康会 小泉病院

M10 精神科病院における COVID-19 陽性者入院病棟の運営

～地域への貢献と見えてきた課題～

○宮脇 映子、高岡 康弘、入澤 孝好

医療福祉センター 倉吉病院 看護部

M11 精神科救急入院病棟における COVID-19 の感染予防対策

○川口 誠、秋里 俊伸、安藤 智子、北村 佳子、佐々木 肇、北見 友香、

山本 りえこ、太田 美穂、山下 陽三、英 裕人、渡辺 憲

社会医療法人明和会 医療福祉センター 渡辺病院

一般演題 4

15:25 ~ 16:10

児童思春期 / パーソナリティ障害

座長：高田 久美(南部町国民健康保険西伯病院)

M12 不登校の発達障がい児の相談支援と就労支援

○廣田 郁子、渡邊 美月

社会医療法人昌林会 安来第一病院

M13 障害児医療 / 福祉の所得制限による受療行動制限。

当事者アンケート 35 例の結果を受けて明らかになった“子育て罰”。

○原 紘志

林道倫精神科神経科病院

M14 パーソナリティ障害のある患者との関わり ～統一した看護の大切さ～

○津田 瑞貴

社会医療法人昌林会 安来第一病院

認知症

座長：原 直明(一般財団法人 河田病院)

M15 COVID-19に罹患した認知症患者への対応 ～その人らしさに配慮した看護～

○山田 成功、榎 智子、河井 佑介、寺脇 恭子
独立行政法人 国立病院機構 鳥取医療センター

M16 前頭側頭型認知症に出現したせん妄状態に効果的だったケアの考察

○近田 聖子
社会医療法人昌林会 安来第一病院

M17 BPSDがみられる患者に対してのグループ活動の効果

～料理クラブを取り入れた認知症患者へのかかわり～

○元関 菜々、石橋 圭子、清水 美貴
医療法人 勤誠会 米子病院

M18 強い不安により生活に影響を受けた高齢者が独歩退院できた要因

○杉山 日向子
渡辺病院

第2日目 11月19日(土)

第3会場(2F 小ホール)

一般演題 6

13:50～14:50

多職種連携、チーム医療-1

座長：阪上 浩文(医療法人永和会下永病院)

M19 精神科における個別性に応じた排便コントロール方法の見直し

○坂本 麻樹¹、田中 真沙代、浜渦 佑也、大崎 浩徳、今城 恵理
医療法人つくし会 南国病院

M20 精神科病院での多職種チームによる IPS (Individual Placement and Support) に基づく個別就労支援

○中岡 恵理¹、福武 周作¹、尾宮 和咲¹、河原 理華¹、高井 優花¹、新井 亨²、
原田 紀行¹、引地 充¹
¹ 社会医療法人高見徳風会 希望ヶ丘ホスピタル、
² 社会医療法人高見徳風会 相談支援 B 型作業所ウイズ

M21 IPS (Individual placement support) モデルに基づく個別性を重視した就労支援により、自信を回復して再就職を達成した事例

○原田 紀行
希望ヶ丘ホスピタル 地域ケア部 就労支援専門チームナリワイ

M22 アウトリーチによる効果と課題

○庄司 宏行
積善病院

一般演題 7

14:55～15:40

多職種連携、チーム医療-2

座長：西田 充利(公益社団法人正光会宇和島病院)

M23 依存症治療における他職種連携

○角道 倫宏、山下 陽三、渡辺 憲
社会医療法人 明和会医療福祉センター 渡辺病院

M24 鳥取県アルコール健康障害支援拠点機関の取り組みとアルコール治療連携

○林 敏昭、山下 陽三、渡辺 憲
社会医療法人 明和会医療福祉センター 渡辺病院

M25 肥満症治療チームにおける心理師の役割

○生田 詩織¹、古瀬 訓弘¹、山崎 泰史¹、横山 梨華²、大羽 沢子³、松浦 美波⁴、
岩田 正明⁴、細田(アーバン)珠希⁵
¹ 鳥取大学医学部附属病院 脳とこころの医療センター、
² 鳥取大学医学部附属病院 脳神経内科、
³ 鳥取大学医学部附属病院 ワークライフバランス支援センター、
⁴ 鳥取大学医学部 脳神経医科学講座 精神行動医学分野、
⁵ 鳥取大学 大学院医学系研究科 臨床心理学講座

地域移行、退院支援

座長：筒井 亮介(医療法人社団光風会三光病院)

M26 ストレングスモデルを用いた退院支援プログラムの構築 ～「いっぽ」の活動を通して～

○石原 健、山本 奈央弥、高見 弘之
医療法人社団 三和会 しおかぜ病院

M27 精神療養病棟に長期入院した統合失調症患者の退院支援

○遠藤 貴宏、横川 裕之
社会医療法人昌林会 安来第一病院

M28 長期入院患者の主体的な生活の獲得にむけて・集団精神療法「ここからクラブ」を通して

○山口 桂子、中山 のはら
社会医療法人 明和会医療福祉センター 渡辺病院

M29 本人の意志決定を尊重した多職種連携による地域移行支援の取組み

○岩岸 直美
社会医療法人 明和会医療福祉センター 渡辺病院